

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

---

研究会基本情報

---

タイトル：「バントゥ諸語のマイクロ・バリエーションの類型的研究（フェーズ1）」（平成29年度第1回研究会）

Title: Typological Study of Microvariation in Bantu (Phase 1)

日時：平成29年7月22日（土曜日）午前13時より午後18時00分

Date & Time: 22 July, 2017, 13:00 - 18:00

場所：AA 研302室

Venue: Rm.302, ICLAA, TUFS

参加者：12名

❖ プログラム（変更あり。0.を追加、3.を変更）

0. 阿部優子（東京女子大学）

「3月国際WSの報告と今年度の計画」

"Report on International WS in March and introduction of the plan of this year"

1. 品川大輔（AA研所員）

「ロンドン大学SOASバントゥWSの報告」

2. 米田信子（AA研共同研究員、大阪大学）

「バントゥ諸語の名詞修飾節に見られるマイクロ・バリエーション－新たなパラメターの提案－」

3. ディスカッション

「本年度の共同研究課題（名詞修飾のMicrovariation）について」（仮題）

→「各メンバーが追究するトピック（パラメータに基づく）に関する brain-storming と“matching”－今年度以降の研究アジェンダの設定－」

"Brainstorming and matching of participants' research projects based on the microvariation parameters.  
Preparing plan to pursue the research projects in the coming years"

0. 阿部優子（東京女子大学） 「3月国際WSの報告と今年度の計画」

3月国際WS全体会で検討したパラメターは110番まで。111～142番については、Follow-upミーティングを2017年9月13日（水）に大阪大学にて実施予定。

「バントゥ諸語のマイクロ・バリエーションの類型的研究（フェーズ1）」2017年度第1回研究会  
20170722@ILCAA

142パラメターを基にしつつ、研究テーマについてWGがパラメターを考案、研究会にて各参加者がデータ提供をする。第2回研究会用のtentative parametersは10月末まで、第3回研究会用は1月末までに、担当者から参加者にデータ提供の依頼をする。本年度の予定は以下の通り。

- 9月13日（水）：Follow-up ミーティング@阪大豊中（3月の国際WSの補習、希望者）
- 12月中・下旬：第2回研究会（研究テーマのデータを持ち寄る、Gibson氏発表）
- 3月中・下旬：第3回研究会（研究テーマのデータを持ち寄る）
- 2月中：SOASプロジェクトのシンポジウム参加（希望者）
- 10月上旬～1月上旬：SOASのHannah Gibson氏招聘（大阪大学）

フェーズ1の成果公開について議論。まずは142パラメターの値と例文集を出版する。確定した（許諾が取れた）例文を冊子として出版することで、フェーズ2に繋げていく。2017年度中に、値とグロス・英訳をつけた例文を入稿してもらい、2018年度中に編集作業をしたい（グロスの統一や英訳校閲を含む）。同時に、各自、研究テーマについて論文執筆。また、AA研よりAcknowledgement記入の依頼あり。雛形は品川氏が準備する。

## 1. 品川大輔（AA研所員）「ロンドン大学SOASバントゥWSの報告」

6月9－10日にロンドン大学SOASで開催された、当共同研究課題の連携プロジェクトである「Morphosyntactic variation in Bantu: Typology, contact and change」（以下SOASプロジェクト）のワークショップに関する報告を行った。同ワークショップの参加者は、SOASプロジェクト代表のLutz Marten教授をはじめ、メンバーのHannah Gibson氏、Rozenn Guérois氏などSOASを拠点とする研究者、また英国外からは当共同研究課題のメンバーであるKoen Bostoen教授（Ghent University）、森本雪子氏（Humboldt University, Berlin）、さらにはフィンランドからAntti Laine氏（University of Helsinki）、米国からRebecca Grollemund氏（University of Missouri）、Jenneke van der Wal氏（Harvard University）、フランスからGérard Philippson名誉教授（Université de Lyon）、タンザニアからJoulius Taji氏（University of Dar es Salaam）など、国際色豊かな集まりとなった。

日本からは米田信子氏（大阪大学）と品川が参加し、当研究課題の進捗状況と今後の見通しについて報告を行った。報告では、2016年度の定例研究会の内容および2017年3月に行った国際ワークショップにおける成果—14言語から収集した142パラメターに関する網羅的なデータの集積と体系化—について紹介し、それら成果を踏まえた通バントゥ的な視点から個別の文法現象に特化した分析を深化させていくことを今後の方針とすることを説明した。

報告は、おおむね好意的に受け止められるとともに、今後の展開として計画中である「スワヒリ語変種に関するプロジェクト」への期待感も示された。またSOASプロジェクト側としては、プロジェクト期間終了に合わせて2018年2月に国際シンポジウムを開催する見通しが発表された。これら、ワークショップで話題に上った事項について情報を共有するとともに、それらへの対応についての議論を行った。

## 2. 米田信子（AA研共同研究員、大阪大学）「バントゥ諸語の名詞修飾節に見られるマイクロ・バリエ

ーション－新たなパラメターの提案－」

❖ レジュメ参照

### 3. ディスカッション（全員）

2.の事例を基に、各自の Microvariation にかかる研究テーマの可能性を発表した。それぞれの研究テーマを発表する中、数名が関与する問題である、動詞終末辞-ile を次回研究会（12月）のテーマとすることを決定した。10月末までに、WG がいくつかの-ile のバリエーションを明らかにするためのパラメターの叩き台を作成し適宜、参加者が加筆・修正する。そのパラメターを基に、研究会1週間前までに、各参加者がデータを準備。研究会では各自のデータを基に、パラメターの妥当性や、アスペクト研究等との関連を議論をする予定である。

## バントウ諸語の名詞修飾節に見られる マイクロ・バリエーション — 新たなパラメターの提案 —

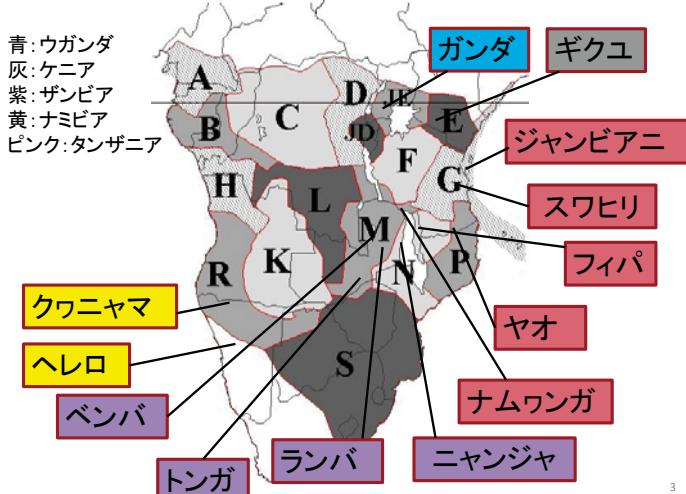
米田信子(大阪大学)

## アウトライン

- バントウ諸語の「関係節」の構造
- 主名詞と名詞修飾節の関係
- 諸言語のデータ
- 見えてきたこと
- 今後の課題
  - 「内の関係」と「外の関係」の境界
  - 動詞補文・その他の従属節との関係
  - Nominalizationの視点
- 新たなパラメターの提案

1

2



3

## 1. バントウ諸語の「関係節」の構造

- RMが動詞接辞として現れる言語の関係節

ヤオはSV語順不可

- (i) RMが動詞語頭 (ヘレロ、ガンダ、トンガ、ランバ、**ヤオ**)
- |           |   |             |   |                       |          |
|-----------|---|-------------|---|-----------------------|----------|
| Head N    | + | (subject N) | + | Verb with RM          | (SV語順可能) |
| embo      |   | omitiri     |   | <i>ndi-ya-randéré</i> | [ヘレロ語]   |
| 5.本       |   | 9.先生        |   | RM5-SM9.PST- 買う       |          |
| 「先生が買った本」 |   |             |   |                       |          |

- (ii) RMが動詞語中 (スワヒリamba-less、ジャンビアニ)

- |           |   |                       |   |                |          |
|-----------|---|-----------------------|---|----------------|----------|
| Head N    | + | Verb with RM          | + | (subject N)    | (SV語順不可) |
| kitabu    |   | <i>a-li-cho-nunua</i> |   | <i>mwalimu</i> | [スワヒリ語]  |
| 7.本       |   | SM1-PST-RM7- 買う       |   | 1.先生           |          |
| 「先生が買った本」 |   |                       |   |                |          |

4

## 1. バントウ諸語の「関係節」の構造

- RMが動詞から独立して現れる言語の関係節  
(ナムワンガ、クワニヤマ、ギクユ、ベンバ、フィバ、ニヤンジャ、スワヒリamba)

- (iii) Head N + RM + (subject N) + Verb
- |                |                 |                |                   |
|----------------|-----------------|----------------|-------------------|
| kitabu         | <i>amba-cho</i> | <i>mwalimu</i> | <i>a-li-nunua</i> |
| 7.本            | COMP-RM7        | 1.先生           | SM1-PST- 買う       |
| [スワヒリ語amba関係節] |                 |                |                   |
| 「先生が買った本」      |                 |                |                   |

- RMが動詞接辞と語の両方で現れる言語の関係節

- (iv) Head N + RM + (subject N) + Verb with RM
- |               |            |                 |           |                     |
|---------------|------------|-----------------|-----------|---------------------|
| <i>mútuka</i> | <i>syə</i> | <i>jwanname</i> | <i>si</i> | <i>vá súniísíe.</i> |
| 9.車           | RM         | 1.男             | RM        | SM1.PST- 売る         |
| [ヤオ語]         |            |                 |           |                     |
| 「男が売った車」      |            |                 |           |                     |

5

## 2. 主名詞と関係節の意味関係

### 内の関係:

- 主語 主名詞が修飾節の動詞の主語
- 主語以外の項 主名詞が修飾節の動詞の主語以外の項

### 外の関係:

- 内容補充関係 修飾節が主名詞の内容を説明している  
(= 名詞補文)
- 因果関係 修飾節と主名詞の間には因果関係がある

6

表1: 関係節を使って修飾できる名詞の範囲

タイプ	言語	内の関係		外の関係	
		主語	主語以外の項	内容補充関係	因果関係
1	ナムワンガ、シファ、ギクユ、スワヒリ(amba)、ベンバ	○	○	○	○
2	スワヒリ(amba-less)	○	○	○ (制限あり)	×
3	ヤオ	○	○	×	○
4	ヘレロ、クワニヤマ	○	○	×	×
5	トンガ	×	○	×	○
6	ジャンビアニ、ニヤンジャ	×	○	○	○
7	ガンダ、ランバ?	×	○	×	×

7

### 3. 諸言語のデータ

8

## ヘレロ語(1)

(6)「昨日先生は／が本を買った。」

*Omítiri yá-randéré émbo eréro.*  
9.先生 SM9.PST-買う 5.本 昨日

(7) 主語:「昨日日本を買った先生」

*omítiri ndjí-ya-randéré embo eréro* [関係節]  
9.先生 RM9-SM9.PST-買う 5.本 昨日

(8) 目的語:「先生が昨日買った本」

*embo omítiri ndjí-ya-randéré eréro* [関係節]  
5.本 9.先生 RM5-SM9.PST-買う 昨日

9

## ヘレロ語(2)

(9) 内容補充関係:「マリアが木から落ちた(という)ニュース」

- a. \**ombuze María djí-wáu kómutí* \*[関係節]  
9.ニュース 1.マリア RM9-SM1.PST.落ちる LOC.木
- b. *ombuze kutja María wáu kómutí* [COMP]  
9.ニュース COMP 1.マリア SM1.PST.落ちる LOC.木
- c. *ombuze yokutja María wáu kómutí*  
9.ニュース GEN9. COMP 1.マリア SM1.PST.落ちる LOC.木  
[GEN-COMP]

(米田 2014)

10

## ヘレロ語(3)

(10) 因果関係:「肉が焼ける匂い」

- a. \**ómúnúko onyáma mbi-ma-i-tétá* \*[関係節]  
3.におい 9.肉 RM3-PRG-SM9-焼ける
- b. ?*ómúnúko kutja onyáma ma-i-tétá* [COMP]  
3.におい COMP 9.肉 PRG-SM9-焼ける
- c. *ómúnúko wokutja onyáma ma-i-tétá* [GEN-COMP]  
3.におい GEN3. COMP 9.肉 PRG-SM9-焼ける  
(米田 2014)

11

## ガンダ語(1)

(11)「男たちは／が車を売った。」

*Abasajja ba-a-tunda emmotoka.*  
2.男 SM2-PST-売る 9.車

(12) 主語:「車を売った男たち」

- a. \**abasajja be-ba-a-tunda emmotoka* \*[関係節]  
2.男たち RM2-SM2-PST-売る 9.車
- b. *abasajja a-ba-a-tunda emmotoka* [冒頭母音]  
2.男たち V-SM2-PST-売る 9.車

(13) 目的語:「男たちが売った車」

*emmotoka basajja gye- ba-a-tunda* [関係節]  
9.車 2.男たち RM9-SM2-PST-売る

12

## ガンダ語(2)

- (14) 内容補充関係:「ウサギがハイエナに嘘をつく話」
- a. ??*olugero akamyu Iwe-ka-a-limbira empisi* ??[関係節]  
11. 物語 12. ウサギ RM11-SM12-PST-嘘をつく 9. ハイエナ
- b. *olugero akamyu mwe-ka-a-limbira empisi* [Locative関係節]  
11. 物語 12. ウサギ RM18-SM12-PST-嘘をつく 9. ハイエナ
- c. *olugero akamyu Iwe-ka-a-limbira-mu empisi*  
11. 物語 12. ウサギ RM11-SM12-PST-嘘をつく-LOC18 9. ハイエナ  
[関係節-Locative]

13

## ガンダ語(3)

- (15) 因果関係:「男が車を売ったお金」
- a. ??*essente omusajja ze-ya-tunda emmotoka* ??[関係節]  
10. お金 1. 男 RM10-SM1.PST-売る 9. 車
- b. *essente omusajja mwe-ya-tunda emmotoka*  
10. お金 1. 男 RM18-SM1.PST-売る 9. 車  
[Locative関係節]
- c. *essente omusajja ze-ya-tunda-mu emmotoka*  
10. お金 1. 男 RM10-SM1.PST-売る-LOC18 9. 車  
[関係節-Locative]

14

## トンガ語(1)

- (16) 「男が車を売った。」
- Musankwa waka-ulisha moota.*  
1. 男 SM1.PST-売る 9. 車
- (17) 主語:「これは車を売った男だ。」
- Oyu ngo musankwa waka-ulisha moota.* [マークなし]  
これ1 COP1 1. 男 SM1.PST-売る 9. 車
- (18) 目的語:「これは男が売った車だ。」
- Eyi nje moota musankwa njaka-ulisha.* [関係節]  
これ9 COP9 9. 車 1. 男 RM9-SM1.PST-売る

15

## トンガ語(2)

- (19) 内容補充関係:  
「私はウサギがカメレオンをだました物語が好きだ。」
- Kandi komenehyia*  
私 好きだ
- kaambo kasulwena kabeja naluntambwe.*  
12. 物語 12. ウサギ SM12.PST.騙す カメレオン [マークなし]
- (20) 因果関係:「これは男が車を売ったお金だ。」
- Aya nga mali musankwa ngaka-ulisha moota.*  
これ6 COP6 6. お金 1. 男 RM6-SM1.PST-売る 9. 車  
[関係節]

16

## ヤオ語(1)

- (21) 「男が車を売った。」
- a. *jwánnómé ju-á-súmiísyé mútuka.*  
1. 男 SM1-PST-売る 9. 車
- b. *jwánnómé va-á-súmiísyé mútuka.*  
1. 男 SM2-PST-売る 9. 車
- (22) 主語:「車を売った男に会った。」 [関係節]
- a. *ná-m-wéeni jwánnómé ju-á-súmiísyé mútuka.*  
SM1SG.PST-OM1-会う 1. 男 SM1-PST-売る 9. 車
- b. \**ná-m-wéeni jwánnómé ju-ju-á-súmiísyé mútuka.*  
SM1SG.PST-OM1-会う 1. 男 RM1-SM1-PST-売る 9. 車
- c. *ná-m-wéeni jwánnómé ju-vá-súmiísyé mútuka.*  
SM1SG.PST-OM1-会う 1. 男 RM1-SM2.PST-売る 9. 車
- d. *ná-m-wéeni jwánnómé (va-)vá-súmiísyé mútuka.*  
SM1SG.PST-OM1-会う 1. 男 RM2-SM2.PST-売る 9. 車

17

## ヤオ語(2)

- (23) 目的語:「男が売った車を見た。」
- na-jí-weéni mútuka ji-vá-súmiísy-e jwánnómé.*  
1SG.PST-OM9-見る 9. 車 RM9-SM1.PST-売る-PRF 1. 男 [関係節]
- (24) 内容補充関係:  
「彼のお父さんが車を売った(という)知らせを受けた。」
- mbatíle lumbíli (kutí) atáti vaó vá-súmiísyé mútuka.*  
私は得た 11. 知らせ COMP 父 彼の SM2.PST-売る-PRF 9. 車  
[マークなし/COMP]
- (25) 因果関係:「これは我々が車を売ったお金です。」
- así mbíya si-twá-súmiísyé mútuka.*  
dem10 10. お金 RM10-SM1PL.PST-売る 9. 車 [関係節]

18

## RMが動詞語頭につく形式で修飾できる意味関係

言語	内の関係		外の関係	
	主語	主語以外の項	内容補充関係	因果関係
ヘレロ語	関係節		COMP	GEN+COMP
ガンダ語	冒頭母音	関係節	Locative	
ランバ語	マークなし?	関係節	COMP	Locative
トンガ語	マークなし	関係節	マークなし	関係節
ヤオ語	関係節		COMP	関係節

いずれも、主名詞と一致するRMが接辞として動詞語頭に付くことで関係節がマークされるが、それらが修飾できる名詞との意味的関係の範囲も、関係節が使えない場合に用いられる形式も異なっている。

## スワヒリ語(1)

### (26) 主語:「果物を売る人」

- a. *mtu a-na-ye-uza matunda* [amba-less関係節]  
     1.人 SM1-PRS-RM1-売る 6.果物  
 b. *mtu amba-ye a-na-uza matunda* [amba関係節]  
     1.人 COMP-RM1 SM1-PRS-売る 6.果物

### (27) 目的語:「(ある)人が売る果物」

- a. *matunda a-na-yo-uza mtu* [amba-less関係節]  
     6.果物 SM1-PRS-RM6-売る 1.人  
 b. *matunda amba-yo mtu a-na-uza* [amba関係節]  
     6.果物 COMP-RM6 1.人 SM1-PRS-売る

20

## スワヒリ語(2)

### (28) 内容補充関係:「ウサギが競争で負けた(という)お話」

- a. *hadithi a-li-yo-shindwa sungura katika mashindano* [amba-less関係節]  
     9.物語 SM1-PST-RM9-負ける 1.ウサギ で 6.競争

- b. *hadithi amba-yo sungura a-li-shindwa katika mashindano* [amba関係節]  
     9.物語 COMP-RM9 1.ウサギ SM1-PST-負ける で 6.競争

### (29) 因果関係:「私が車を売ったお金」

- a. \**pesa ni-li-zo-uza motokaa* \*[amba-less関係節]  
     10.お金 SM1S-PST-RM10-売る 9.車

- b. *pesa amba-zo ni-li-uza motokaa* [amba関係節]  
     10.お金 COMP-RM10 SM1SS-PST-売る 9.車

21

## ジャンピアニ語(1)

### (30) 主語:「果物を売る人」

- a. \**mtu a-na-ye-kuza matunda* \*[関係節]  
     1.人 SM1-PRS-RM1-売る 6.果物

- b. *mtu m-na-kuza matunda* [特別な主語接辞(R.SM)]  
     1.人 R.SM1-PRS-売る 6.果物

### (31) 目的語:「(ある)人が売る果物」

- matunda a-na-yo-kuza mtu* [関係節]  
     6.果物 M1-PRS-RM6-売る 1.人

(Miyazaki p.c.)

22

## ジャンピアニ語(2)

### (32) 内容補充関係:「ウサギが競争で負けた(という)お話」

- hadithi a-yo-shindwa sungura kunako mashindano* [関係節]  
     9.物語 SM1-RM9-負ける 1.ウサギ で 6.競争

### (33) 因果関係:「私が車を売ったお金」

- pesa n-zo-kuza gari* [関係節]  
     10.お金 SM1SG-RM10-売る 9.車

(Miyazaki 2012, Yoneda 2016)

23

## RMが動詞語中に付く関係節のバリエーション

### 関係節を用いて修飾できる名詞

言語	内の関係		外の関係	
	主語	主語以外の項	内容補充関係	因果関係
スワヒリ語(amba-less)	○	○	○	×
ジャンピアニ語	×	○	○	○

ジャンピアニ語はスワヒリ語の一変種であり、関係節の構造も極めて似ているが、関係節の守備範囲は異なっている。

24

## ナムワンガ語

(34) 主語:「車を売った男」

*umulumento wino a-kazile emotoka* [関係節]  
1.男 RM1 SM1-売った 9.車

(35) 目的語:「男が売った車」

*emotoka yino umulumento a-kazile* [関係節]  
9.車 RM9 1.男 SM1-売った

(36) 内容補充関係:「男が車を売った(という)ニュース」

*ihabari yino umulumento akazile emotoka* [関係節]  
9.ニュース RM9 1.男 SM1-売った 9.車

(37) 因果関係:「彼が車を売ったお金」

*impiya zino a-kazile emotoka* [関係節]  
10.お金 RM10 SM1-売った 9.車

25

## ニヤンジャ語(1)

(38) 「男たちが車を売った。」

*Bamuna ba-na-gulisa motoka.*  
2.男たち SM2-PST-売る 9.車

(39) 主語:「彼らが車を売った男たちだ。」

a.\**Aba ndiye bamuna yamene ba-na-gulisa motoka*  
彼ら2 COP 2.男たち RM SM2-PST-売る 9.車 \*[関係節]  
b. *Aba ndiye bamuna ba-na-gulisa motoka*  
彼ら2 COP 2.男たち SM2-PST-売る 9.車 [マークなし]

(40) 目的語:「これが男たちが売った車だ。」

*Iyi ndiye motoka yamene bamuna ba-na-gulisa.*  
これ2 COP 9.car RM 2.男たち SM2-PST-売る [関係節]

26

## ニヤンジャ語(2)

(41) 内容補充関係:

「私はウサギがライオンをだました(という)話が好きだった。」

*Ninaikonda kani yamene kalulu a-na-nama mkango.*  
私は好きだった 9.物語 RM 1.ウサギ SM1-PST-だます 3.ライオン  
[関係節]

(42) 因果関係:「これは男たちが車を売ったお金だ。」

*Iyi ndiye dalama yamene bamuna ba-na-gulisa motoka*  
これ9 COP 9.money RM 2.男たち SM2-PST-売る 9.車  
[関係節]

27

## クワニヤマ語(1)

(43) 「先生はきのう本を買った。」

*Omurongi a-landere embo ongera.*  
1.先生 SM.PST-買う 5.本 昨日

(44) 主語:「これはきのう本を買った先生だ。」

*O omurongi (ou) a-landere embo ongera.* [関係節]  
COP1 1.先生 RM1 SM1.PST-買う 5.本 昨日

(45) 目的語:「これは／が先生が昨日買った本だ。」

*Eri embo (ro) omurongi a-landere ongera.* [関係節]  
COP5 5.本 RM5 1.先生 SM1.PST-買う 昨日

28

## クワニヤマ語(2)

(46) 内容補充関係:

「私たちはナミビアが試合に勝っているニュースを見ていた。」

a.\**She okwali atu-tale emundana ro Namibia eshipondola mudano.*  
我々 PST.BE SM1PL-見る 5.ニュース COMP ナミビア 勝つ  
3.試合 \*[関係節]

b. *She okwali atu-tale emundana ngéne Namibia eshipondola mudano.*  
我々 PST.BE SM1PL-見る 5.ニュース COMP ナミビア 勝つ 3.試合  
[COMP]

cf. (47) *ye okwarombwerange nokucha ongoshi oya-ronda komuti.*  
彼 私に話した COMP 9.ライオン SM9.PST-登る LOC.木  
「彼は私にライオンが木に登ったと話した。」

29

## 4. 見えてきたこと

まとめ(見えてきたこと)

- 関係節の構造が関係節の修飾可能な範囲に必ずしも直接関係しているというわけではなさそうである。
- 関係節の守備範囲にも、関係節が使えない関係の名詞の修飾に用いられる形式にもバリエーションがある。スワヒリ語とジャンビアニ語のように方言関係にあってもかなり異なるケースもある。
- ただしRMが動詞とは独立した語として現れる関係節は、RMが動詞の接辞として現れる言語よりも修飾できる名詞の範囲が広い傾向はある。
- 「内の関係」と「外の関係」の違いよりも「主語」と「主語以外の項」という文法関係の違いが形式に反映されている言語が多い。
- そのような言語における主語の修飾形式は、より単文に近くなる(单文との区別がない言語も少なくない)。

30

表1: 関係節を使って修飾できる名詞の範囲

タイプ	言語	内の関係		外の関係	
		主語	主語以外の項	内容補充関係	因果関係
1	ナムワンガ、シファ、ギクユ、スワヒリ(amba)、ベンバ	○	○	○	○
2	スワヒリ(amba-less)	○	○	○ (制限あり)	×
3	ヤオ	○	○	×	○
4	ヘレロ、クワニヤマ	○	○	×	×
5	トンガ	×	○	×	○
6	ジャンビアニ、ニヤンジャ	×	○	○	○
7	ガンダ、(ランバ?)	×	○	×	×

31

表2: 主名詞と修飾節との意味関係とそれぞれの修飾に用いられる形式

言語	内の関係		外の関係	
	主語	主語以外の項	内容補充関係	因果関係
ナムワンガ語・ギクユ語・ベンバ語・シファ語・(ニヤンジャ語?)	関係節			
ニヤンジャ語	マークなし	関係節		
ジャンビアニ語	主語接辞交替/マークなし	関係節		
スワヒリ語	amba-less関係節			amba節
ヤオ語	関係節		マークなし/ (COMP)	関係節
トンガ語・(ヤオ語)	マークなし	関係節	マークなし/ (COMP)	関係節
ヘレロ語	関係節		COMP	GEN+COMP
クワニヤマ語	関係節		COMP	×
ガンダ語	冒頭母音	関係節	Locative	
ランバ語	マークなし?	関係節	COMP?	Locative <sub>32</sub>

## 4. 課題1: 「内の関係」と「外の関係」の境界

ヘレロ語

(48) 「私が帽子を被った写真」

- a. óvíperadero **mbí-** mba-zára otjikaíva  
8.写真 RM8-SM1SG.PST-被る 7.帽子
- b. ??óvíperadero kutja mba-zára otjíkaiva  
8.写真 COMP SM1.PST-被る 7.帽子
- c. óvíperadero vyokútja mba-zára otjíkaiva  
8.写真 GEN.COMP SM1SG.PST-被る 7.帽子

a.は「内の関係」の形式、c.は「外の関係」の形式

33

## 5. 課題1: 「内の関係」と「外の関係」の境界

スワヒリ語でも同様

スワヒリ語

(49) 「人々が畑を耕している写真」

- a. picha wa-na-**yo-lima** shamba watu  
9.写真 SM2-PRS-RM9-耕す 5.畑 2.人々
- b. picha **ambayo** watu wa-na-lima shamba  
9.写真 COMP-RM9 2.人々 SM2-PRS- 耕す 5.畑

「写真」の現れ方については、他の言語でも調査が必要。

34

## 5. 課題2: 従属節や動詞補文との関係

(50) 「名詞修飾節に見られる意味的関係と形式との関係が、副詞節に見られる関係と逆になっているところは興味深い。ヘレロ語では、名詞修飾節では意味の違いが形式に反映される一方で、副詞節においては多機能な接続詞が見られた。つまり副詞節においては、主節と従属節との意味的関係が(少なくとも名詞修飾節の場合ほどには)明確に形式には反映されていない。これはケレウェ語の場合と同じである。一方、名詞修飾節において主名詞と修飾節との意味的関係が形式に反映されないスワヒリ語では、主節と従属節の意味的関係によって用いられる接続詞は細かく区別される。ここには、名詞修飾節においては意味的な関係を明示しないが、主節と従属節の意味的関係によって細かく形式が区別される、という日本語とも平行する傾向が見られる。」

(米田 2014)



ほんとうか?

35

## 5. 課題2: 従属節や動詞補文との関係

ヘレロ語

(51) Ovihávéro ka-ví-yá-níngéna **kútja** má-ku-roko.  
椅子8 NEG-SM8-NEG-濡れる CONJ PRG-SM17-降る  
「雨が降っているが、椅子は濡れていない。」

(52) Wá-zikí orúheré **kútja** ovanátje ve-ryé.  
SM3SG.PST-料理する 11.練粥 CONJ 2.子どもたち SM2-食べる  
「彼女は子どもたちが食べられるように練粥を作った。」

(53) Ami mbé-mu-sérékárére **kútja** ete twa-wá kómutí.  
私 SM1SG.PST-OM3SG-話す COMP 我々 SM1PL.PST-落ちる LOC17.木  
「私は私たちが木から落ちたと彼女に話した。」

36

## 5. 課題2: 従属節や動詞補文との関係

ところがクワニヤマ語では、名詞補文と動詞補文では異なる補文マークーが用いられている。

(54) *She okwali atu-tale emundana ngéne Namibia eshipondola mudano.*  
我々 PST.BE SM1PL-見る 5.ニュース COMP ナミビア 勝つ 3.試合  
「我々はナミビアが試合に勝ったというニュースを見た。」

cf. (55) *ye okwarombwerange nokucha ongoshi oya-ronda komuti.*  
彼 私に話した COMP 9.ライオン SM9.PST-登る LOC.木  
「彼は私にライオンが木に登ったと話した。」

ヘレロ語は名詞修飾に関しては意味的関係によって形式が区別されている一方で動詞に関しては意味の違いが形式に反映されていない。ところが、名詞修飾に関してヘレロ語と同様に区別されているクワニヤマ語では、動詞補文のマークーが名詞補文とは区別されている。

## 5. 課題2: 従属節や動詞補文との関係

スワヒリ語

- (56) a. *A-na mpango amba a-ta-andika kitabu.*  
SM3SG-持つ 3.計画 RM3 SM3SG-FUT-書く 7.本  
「彼は本を書く(という)計画がある。」
- b. *A-li-ni-ambia kwamba a-ta-andika kitabu.*  
SM3SG-PST-OM1SG-伝える COMP SM3SG-FUT-書く 7.本  
「彼は私に本を書くと言った。」
- c. *A-na mpango kwamba a-ta-andika kitabu.*  
SM3SG-持つ 3.計画 COMP SM3SG-FUT-書く 7.本  
「彼は本を書く(という)計画がある。」

本来、動詞補文と名詞補文には異なるマークーの形式があるが、動詞補文のマークーが名詞補文に用いられるケースが見られる。

## 5. 課題2: 従属節や動詞補文との関係

ニヤンジャ語

(57) *Bamai bananiwa ati kalulu a-na-nama mkango.*  
母 私に話した COMP ウサギ SM3SG-PST-だます ライオン  
「母はウサギがカメレオンをだましたと私に話した。」

(58) *Ninaikonda kani yamene kalulu a-na-nama mkango.*  
私は好きだった 9.物語 RM 1.ウサギ SM1-PST-だます 3.ライオン  
「私はウサギがライオンをだました(という)話が好きだった。」

(41)再掲

主名詞と修飾部との意味的関係が異なっていても同じ形式が用いられるが、動詞補文には異なるマークーがもちいられる。

39

## 6. 新たなパラメターの提案

- その形式は主語の関係節化に用いられるか？
- その形式は主語以外の項の関係節化に用いられるか？
- その形式は内容補充関係にある名詞を主名詞(名詞補文)にすることができるか？
- その形式は因果関係にある名詞を主名詞にすることができるか？
- 1~4がNoの場合、それらはどんな形式が用いられるか？  
(1~5: Yoneda 2016)
- 名詞補文に用いられる形式は動詞補文に用いることができるか？
- 主名詞なしで名詞句として用いることができるか？

## 6. 新たなパラメターの提案

### 1. modifying constructions for subject

I saw the man who sold a car.

### 2. modifying constructions for object

This is the car which the man sold.

### 3. modifying constructions for the noun in the appositive relation

I heard the news that the man sold a car. (nominal complementizer)

### 4. modifying constructions for the noun in the causal relation

This is the money which the man sold.

(This is the money which the man got through selling a car.)

### 6. verbal complementizer

I heard that the man sold a car.

### 7. NP

a. What I bought was expensive.

b. I showed her what I bought.

## 参考文献

- 大島資生. 2010.『日本語連体修飾節構造の研究』ひつじ書房  
堀江薰・バルデシ=プラシャント. 2009.『言語のタイプロジー』研究社  
益岡隆志. 2010.「連体節構文における関係的意味」*KLS Proceedings* 30, 316-326.  
Matsumoto, Yoshiko. 1997. *Noun-modifying constructions in Japanese: A frame- semantic approach*. Amsterdam: John Benjamins.  
Miyazaki, Kumiko. 2012. Noun-modifying clauses in Bantu languages—Data from Jambiani Swahili. International Workshop on Bantu languages. @大阪大学(中之島).  
寺村秀夫. 1975.「連体修飾のシタクスと意味—その1—」『日本語・日本文化』4, 71-119.  
寺村秀夫. 1977.「連体修飾のシタクスと意味—その3—」『日本語・日本文化』6, 1-35.  
米田信子. 2012.「スワヒリ語における2種類の関係節」*Clavel* 2, 13-25.  
米田信子. 2014.「バントゥ諸語における名詞修飾節の形式と意味」益岡隆志・大島資生・橋本修・堀江薰・前田直子・丸山岳彦(編)『日本語複文構文の研究』ひつじ書房. 617-643.  
米田信子. 2016.「バントゥ諸語の関係節に見られるマイクロバリエーション」日本言語学会第153回大会予稿集. 284-289.  
Yoneda, Nobuko. 2016. Forms and functions of noun modifying clauses in Bantu languages. The 6th International Conference on Bantu Languages. ヘルシンキ大学.  
米田信子. 2017.「バントゥ諸語の名詞修飾構文－意味関係と形式－」Prosody & Grammar Festa. 国立国語研究所.
- 
- ☆本研究はJSPS科研費JP16K02627「バントゥ諸語における従属節の形式と意味に関する比較研究」の助成を受けたものである。

41

42